

基本目標No.	3	基本目標名	健やかで笑顔あふれるまちづくり
施策No.	24	施策名	地域医療体制の充実
主管課名	健康センター		
関係課名	市民課、社会福祉課		

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域で安心して医療が受けられる体制になっています。 ・症状に応じた医療を受けられる救急体制が整っています。
-----------	--

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・症状に応じて適正な医療受診に努めます。 ・身近な地域でかかりつけ医を持ちます。
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が安心して医療が受けられるように医療機関と連携を強化し、救急医療や在宅医療など地域医療体制を支援します。 ・広報やホームページにより、救急医療機関情報を提供します。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関相互の連携による効率的な医療を提供します。 ・住み慣れた地域で療養生活ができるよう医療サービスを提供します。

市民意識調査結果	< 施策満足度調査結果 > <table border="1"> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> <tr> <td>0.072</td> <td>0.048</td> <td>0.133</td> <td>0.112</td> <td></td> </tr> </table>					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	0.072	0.048	0.133	0.112		
	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度											
	0.072	0.048	0.133	0.112												
	< 施策重要度調査結果 > <table border="1"> <tr> <th>23年度</th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> </tr> <tr> <td></td> <td>0.954</td> <td>1.007</td> <td>0.918</td> <td></td> </tr> </table>					23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		0.954	1.007	0.918		
23年度	24年度	25年度	26年度	27年度												
	0.954	1.007	0.918													

施策のトータルコスト	区分	単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績	27年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数	—	—	3 (3)	3 (3)	3 (3)	
うち基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	2 (2)	2 (2)	2 (2)		
うち基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—	1 (1)	1 (1)	1 (1)		
うち基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—					
うち基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本数	—	—					
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円	—	—	83,038	76,513	79,499		
うち基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	76,764	76,459	79,367		
うち基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—	6,274	54	133		
うち基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—					
うち基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	—	—					
C. 施策に携わる正規職員数合計	人	—	—	5	3	4		
D. 事務事業に要する年間総時間	時間	—	—	1,100	280	500		
E. 人件費 (D×1時間あたりの平均人件費)	千円	—	—	4,839	1,174	2,191		
F. トータルコスト (B+E)	千円	—	—	87,877	77,687	81,690		
効率性指標	G. 事業費 (定義式 : B/人口)	円	—	—	1,874	1,738	1,825	
	同上	円	—	—	109	27	50	
	H. 人件費 (定義式 : E/人口)	円	—	—	1,983	1,764	1,876	
	同上	円	—	—	1,983	1,764	1,876	
参考	I. トータルコスト (定義式 : F/人口)	円	—	—	1,983	1,764	1,876	
	J. 1時間あたりの平均人件費	円	—	—	4,399	4,194	4,382	
	K. 魚津市の人口(各年度12月末時点)	人	—	—	44,315	44,036	43,555	

基本事業概要シート①

施策No.	24	施策名	地域医療体制の充実
基本事業名①		救急医療体制の充実	
基本事業①の目的(意図)		救急患者が安心して医療が受けられます。	
平成26年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【一次救急体制支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津市医師会へ「在宅当番医制運営事業」を委託し、休日祭日の救急医療を実施しました。 ・新築される富山労災病院内の初期急患センター(H28年11月オープン)の運営について、病院と協議しました。 <p>【地域中核病院支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津市唯一の総合病院であり「地域がん診療連携病院」である富山労災病院に対して、PETやリニアック機器を有償貸与して、身近な地域でがんの早期発見・早期治療が実施できる体制を支援しました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)
救急医療体制に満足している市民の割合	%	—	—	40.0	43.0	46.0	48.0	50.0	60.0
			—	40.3	43.6	42.6	43.0		

基本事業①を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業)

No.	会計名	事務事業名	平成26年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	◎ 一次救急体制支援事業	2,000,000	2,000,000	0	A	健康センター
2	一般会計	◎ 地域中核病院支援事業	77,366,684	77,366,684	0	A	健康センター
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
31					0		
32					0		
33					0		
34					0		
35					0		
合計			79,366,684	79,366,684	0		

基本事業概要シート②

施策No.	24	施策名	地域医療体制の充実
基本事業名②		在宅医療の推進	
基本事業②の目的(意図)		市民が身近な地域で安心して医療が受けることができます。	
平成26年度における 主な事業内容(活動内容)		<p>【在宅医療・介護連携推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療をテーマに、新川地域在宅医療支援センターと共催で、住民を対象とした市民公開講座を開催。併せて、在宅医による講座を地区で開催するなど、普及啓発に努めました。 ・在宅医療・介護連携の推進を目的に、“魚津市介護保険サービス事業所連絡協議会”所属の職員に対して、地域包括ケアシステムの構築に関するテーマの研修会を開催しました。 	

成果指標名	単位	H21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)							
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度 (中間目標値)	32年度 (最終目標値)	
在宅医療利用者数 (※把握可能な相談者数を計上)	人	29	30	35	40	45	50	50	70	
			45	40	178	126	267			
訪問歯科診療利用者数	人	78	80	85	90	95	100	100	150	
			37	106	147	130	117			

基本事業②を構成する事務事業の実績(◎:総合計画の主要事業 ○:実施計画掲載事業)

No.	会計名	事務事業名	平成26年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	在宅医療・介護連携推進事業	500,000	132,532	367,468	-	社会福祉課
2					0		
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
31					0		
32					0		
33					0		
34					0		
35					0		
合計			500,000	132,532	367,468		

施策No.	24	施策名	地域医療体制の充実
26年度の 評価結果 (基本事業 の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①救急医療体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆救急医療体制に満足している市民の割合は、43.0%とほぼ横ばい状態であり、目標値より低い状態です。 ◆市内では、休日祭日の初期救急診療体制は整備されているものの、夜間の初期救急は、隣接市の黒部市民病院内の小児急患センターしかありません。 <p>【②在宅医療の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆在宅医療利用者数では、中核病院である富山労災病院の地域医療連携室の機能が充実したことやメディカルネット蜷気楼に所属している医師会医師等の協力により、利用者数(相談者数)が、平成23年度40人から平成24年度178人と増加し、平成25年度では126人と少なくなりましたが、平成26年度は267人と大きく増加しています。 ◆訪問歯科診療利用者数は、メディカルネット蜷気楼に所属している医師や歯科医師等の連携やケアマネージャーにより周知されてきており、昨年度とほぼ横ばい状態ですが、目標値を大きく超えています。 ◆新川医療圏には、新川在宅医療支援センターがあります。また、市内では在宅医療の構築を目指して、在宅医療に関心のある多職種スタッフの集まりである「メディカルネット蜷気楼」等で定期的な学習会も開催されています。 ◆在宅医療については、様々な関係機関の協力により、徐々に体制が整ってきていると思われます。しかし、医療や介護を活用しながら、在宅で生活できることの周知が不足していると考えられます。 		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (26年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述)		
<p>【①救急医療体制の充実】</p> <p><一次救急体制支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆富山労災病院内初期急患センターの整備(平成28年11月オープン予定)が決定し、運営費の試算について病院と協議しました。 <p>【②在宅医療の推進】</p> <p><在宅医療・介護連携推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆在宅での療養を選択されるケースが増加することを期待して、在宅医療をテーマとした市民公開講座や地区公民館で在宅医による講座を実施し、普及啓発を行いました。また、医療や介護に従事する職員に対して、在宅を意識したサービス提供に向けた研修を行い、職員の意識向上を図りました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①救急医療体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆一次救急体制支援事業については、富山労災病院内で開設される初期急患センターの運営体制等について、医師会・労災病院と具体的な協議が必要です。 ◆地域中核病院支援事業については、市内唯一の総合病院である富山労災病院に、地域がん診療連携拠点病院としての役割や急性期・救急医療への対応が期待されます。新棟がオープンするにあたり、地域医療の充実と市民がより利用しやすい病院となるために、新たな高度医療機器の貸与等継続した支援が求められています。 <p>【②在宅医療の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市民意識の醸成を図るために普及啓発が重要となります。関係機関と連携を図りながら、市民公開講座などさまざまな機会を通して具体的に普及啓発に取り組めます。 			

部会評価 (協議結果、今後の方針及び課題等について記載)	施策の重要度	重点
		<ul style="list-style-type: none"> ◆初期急患センターの運営等に関する協議を、関係機関と行うこと。 ◆地域医療の役割を担う市内唯一の総合病院として、地域に根ざした病院となるよう、支援を継続すること。 ◆在宅医療については、市民の意識醸成に向けて普及啓発に努めるとともに、関係機関との連携調整を図ること。

経営戦略会議における施策の課題及び方針	施策の重要度	一般
		<ul style="list-style-type: none"> ◆初期急患センターを開設し、適切な運営を行います。併せて、救急医療の適正な利用について、啓発します。 ◆在宅医療・介護に関する職種の連携を図るなど、安心して在宅医療が継続できる体制を構築します。